

(平成 26 年 12 月試験研究業務月報)

FS 研究課題：京都府内における木質ペレットの流通実態の解明

研 究

木のエネルギー「木質ペレット」

当センターでは、木質バイオマス（木質ペレット^{※1}）利用を進めるために、FS 研究^{※2}に取り組んでいます。京都の木質バイオマス利用は他府県に比べ進んでいるとは言い難い状況であることから、今回木質ペレットを製造・販売している 2 企業に聞き取り調査を行いました。結果、温泉施設や公共施設、個人などへの販売量は供給可能量より低く、需要が少ないため、普及が進んでいない実態が判明しました。

環境にやさしい木質ペレットの利用を進めるため、木質ペレットの利点を PR し府民の認知度を高めることや、導入コストを低減させる方策を立て、利用向上を図っていきます。

※1 木質ペレット：製材所で出てくるおが粉などの木くずを圧縮成型した再生可能なエネルギー。未利用の間伐材や林地残材も原料になり、利用することで CO₂ の排出削減や森林整備の促進につながる。

※2 FS（フィジビリティ・スタディ）研究：本格的な研究に入る前に、予備的な調査・研究を行い、将来の本格的な研究による技術開発の可能性を検討・確認するもの。



木質ペレット



ペレットストーブ
(南丹広域振興局府民ホール)

農林センター（森林技術センター）